

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	ハブ咬傷防止事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-オ	
担当部課名	健康づくり推進課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	危険生物対策の推進	
事業内容	地域住民や観光客の咬傷事件を予防するため、台湾ハブ等の捕獲器設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、安心・安全な地域・観光地づくりを目指す。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	13,914	14,086	15,751	16,084	18,788
		(b) 予算現額	13,196	14,086	15,584	17,033	19,260
		(c) 増減額(b-a)	-718	0	-167	949	472
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	13,196	14,086	15,584	17,033	19,260
	B. 執行済額		13,144	14,113	15,238	16,204	18,959
	うち交付金充当額		10,515	11,268	12,190	12,963	15,167
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.6%	100.2%	97.8%	95.1%	98.4%
予算の状況の説明		会計年度職員の報酬改定に伴う増額が生じたため、報酬等472千円を増額した。 不用額301千円については、捕獲器設置作業等に使用する軽トラックの燃料費が見込みより下回ったことが主な要因である。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ハブ捕獲器を町内950ヵ所に設置	目 標	(650ヵ所)	(750ヵ所)	(850ヵ所)	(950ヵ所)	
		実 績	650ヵ所	750ヵ所	850ヵ所	950ヵ所	
		目 標	()	()	()	()	
実 績							
達成 状 況 説 明	・台湾ハブ等の捕獲数の多い地域や、台湾ハブ等の目撃情報や生息が懸念されている地域を重点的に、ハブの捕獲器を新たに100基設置した。(850基から950基へ増設)						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	ハブによる咬傷被害件数0件	目 標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実 績		8件	0件	1件	
	【参考指標】 ハブ年間捕獲数	目 標	()	(1,400匹)	(1,700匹)	(1,900匹)	()
		実 績		1,751匹	1,955匹	1,961匹	
	進 捗 状 況 説 明	・町内において咬傷被害が1件発生したため、目標を達成することができなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・台湾ハブ等の捕獲数は例年顕著に増加していたが、今年度は前年度並みの結果となった。その要因は定かではないが、外部環境の変化として猛暑であったことが挙げられる。 ・咬傷被害があった場所は、近年捕獲数が伸びている地域である。	・捕獲器設置依頼件数は町内広範囲に広がりつつあるため、引き続き、目撃や捕獲があった場所周辺への更なる捕獲器増設を行い、個体数の減少を図る必要がある。 ・今後も引き続き、咬傷被害を予防するため注意喚起を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・引き続き、町のホームページや町広報誌等で注意喚起を行い、咬傷被害防止を図る。 ・ハブ捕獲器を950基から1,000基に100基増設し、目撃や捕獲数の多い地域へ重点的に設置することにより個体数の減少を図る。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

```

            graph LR
                A[本部町  
18,959千円] --> B[報酬  
7,520千円]
                A --> C["ほか、ハブ売上収入  
(交付対象外経費)  
4,694千円"]
                A --> D[職員手当等  
4,580千円]
                A --> E[共済費  
2,513千円]
                A --> F["ほか、雇用・労災保険  
(交付対象外経費)  
149千円"]
                A --> G[旅費  
48千円]
                A --> H[需要費  
3,894千円]
                A --> I[使用料及び賃借料  
404千円]
                B --> J[作業員  
7,520千円]
                D --> K[作業員  
4,580千円]
                E --> L[作業員  
2,513千円]
                G --> M[作業員  
48千円]
                H --> N["光熱費(電気、水道) 391千円  
消耗品(捕獲器、マウス飼料等) 2,982千円  
燃料費(車両の燃料) 521千円"]
                I --> O["車両リース(3台) 364千円  
冷凍庫リース 40千円"]
                C --> P["会計年度任用職員6人"]
                F --> Q["会計年度任用職員6人"]
                N --> R["会計年度任用職員6人"]
                O --> S["会計年度任用職員2人"]
                
```

総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
23,802	18,959	15,167	3,792	4,843

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・作業員は書類選考及び面接により選定しており、妥当である と考える。 ・予算規模については、事業内容に見合っており適正な規 模であったと考えている。 ・費目・使途についてはハブ捕獲で使用するマウスの飼料 費や捕獲器購入など、事業目的達成の観点から必要なも のである。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	伝統興行観光化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和8年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
						Ⅱ-1-(1)		
事業内容	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用するため、ナイトー闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		(a) 当初予算額	103,082	115,426	4,893	4,893	4,893	
		(b) 予算現額	93,256	72,396	0	4,893	4,893	
		(c) 増減額(b-a)	-9,826	-43,030	-4,893	0	0	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	93,256	72,396	0	4,893	4,893		
		B. 執行済額		88,574	72,395	0	4,266	4,430
		うち交付金充当額	70,859	56,320	0	3,412	3,544	
	次年度繰越額		82,256	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		95.0%	100.0%	#DIV/0!	87.2%	90.5%	
予算の状況の説明		不用額463千円については、実績に伴う減額及び対象外経費であるチケット収入の減によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	伝統興行の実施(2回)	目標	(2回)	()	(2回)	(2回)		
		実績	0回		2回	2回		
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	伝統興行の実施については、目標どおり2回イベントを開催することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	伝統興行来場者数	目標	()	()	(742人)	(742人)	()	
		実績			746人	472人		
		目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	12月に開催したイベントでは、317人の来場者があり、2月に開催したイベントについては、155人の来場があった。2回のイベントでの合計来場者数は、472人となり達成率は64%であった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・イベント開催日のうち、12月は屋内でのイベント開催により効果的に集客が出来た。2月は屋外イベントで雨天決行となったため、集客が見込めなかった。今後もSNSを使った広告と県内新聞を活用した広報を行うことで、若い人からお年寄りまで幅広く周知し、屋外イベントの雨天時のプログラムについて工夫する必要があると考える。	・更なる入場者数の確保に向け、町内ホテルや県内観光協会等への周知など情報発信を強化する。 ・屋外で開催できればより良いが、天気が崩れても屋内に切替できる等、天気による入場者数の減の影響を受けにくい新たなイベントを考える。
今後の取り組み方針		
・団体客の確保については、旅行代理店に営業活動を行い、より多くの代理店にツアーが組めるように取り組む他、個人旅行者の確保については、引き続きSNSでの告知を続け、宿泊施設等で情報が受け取れる仕組み作りや各種メディアを通じて広報活動を行い、個人客の確保に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,240</td><td>4,430</td><td>3,544</td><td>886</td><td>810</td></tr> </table> 本部町 4,430千円 委託料 4,430千円 一般社団法人 本部町観光協会 4,430千円 対象外経費:810千円 (イベント実施に伴うチケット収入)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,240	4,430	3,544	886	810
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,240	4,430	3,544	886	810										
資金の流 れ・点 検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○イベント実施の委託先は、当該イベントに精通した地域団体を選定する必要があり妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、必要な金額が計上されており、不用額については、イベントで不要となって部分であり妥当である。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、精算段階で検査を行い事業に即したものに限定されている。											
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	もとぶマイクロツーリズム推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～6年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	Ⅲ-1-(1)						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算 の 状 況		R4年度	R5年度	R6年度		
		(a) 当初予算額	7,635	7,635	7,635		
		(b) 予算現額	7,635	7,635	7,635		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	0	0	0		
	A. 計 (b+d)	7,635	7,635	7,635			
	B. 執行済額	6,564	6,485	5,705			
	うち交付金充当額	5,251	5,188	4,564			
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	86.0%	84.9%	74.7%			
予算の状況の説明	不用額1,930千円については、人件費や消耗品、ガイドおよび講師謝金の減などによるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度		
	町観光協会へ補助金の支出 1件/年	目 標	(1件)	(1件)	(1件)	()	
		実 績	1件	1件	1件		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	・町観光協会への補助により、ガイド団体事務局運営にかかる人員の配置と運営体制を整備し、ガイドツアールート の策定やモニターツアー、ガイドのスキルアップ研修を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	モニターツアーの実施	目 標	()	()	()	(10回)	()
		実 績				12回	
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	・ホームページでの周知と電話予約による募集により、町内55名・町外19名・県外8名からの参加者を獲得できたことでツアー実施回数も増えた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(モニターツアーの実施) ・電話窓口による予約と丁寧な説明を行い、案内する認定ガイドとの交流の相乗効果で満足度の高いモニターツアーが実施できた。団体での予約よりも個人での予約が多いため、予約の獲得数を増やすためには適切な予約方法を検討する必要があると考える。	(モニターツアーの実施) ・個人での予約に柔軟に対応するため、認定ガイドの募集を行い人員を補強する。顧客満足度を上げるため認定ガイドの質を向上し、信頼性の高いモニターツアーを目指す。
今後の取り組み方針		
(モニターツアーの実施) ・認定ガイドには継続的なスキルアップ研修を実施し、モニターツアー実施による既存ルートの磨き上げと新規ルートの策定を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,339</td><td>5,705</td><td>4,564</td><td>1,141</td><td>634</td></tr> </table> 本部町 5,705千円 補助金 5,705千円 (一社)本部町観光協会 ほか、観光協会負担分 (交付対象外経費) もとぶマイクロツーリズム推進事業補助金 ・事務局員の配置 ・ガイドルートの策定 ・モニターツアーの企画・運営 ・スキルアップ研修の実施					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,339	5,705	4,564	1,141	634
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,339	5,705	4,564	1,141	634										
資金の流 点、検 費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地域住民主体のガイド団体運営には観光協会が適しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、適正な規模であったと考えている。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、積算段階で一部検討が必要であるものの概ね目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	もとぶ観光地クリーンアップ事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和4年～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人と環境にやさしいまちづくりの 推進		
	Ⅲ-1-(1)						
事業内容	魅力的な観光地としての景観美化を図るため、観光アクセス道路(町道等)及び観光地周辺の除草作業などを実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	29,079	35,448	45,840		
		(b) 予算現額	15,602	35,696	47,723		
		(c) 増減額 (b-a)	-13,477	248	1,883	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	15,602	35,696	47,723	0	0
	B. 執行済額		15,225	34,678	46,589		
	うち交付金充当額		12,180	27,742	37,271		
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.6%	97.1%	97.6%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		計画通り適正に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況			
				R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	国道及び県道・町道を主とした除草作業等を実施	目 標	(国・県・町道の除草作業)	(国・県・町道の除草作業)	(国・県・町道の除草作業)	()	
		実 績	観光地、国・県・町道の除草作業を実施	観光地、国・県・町道の除草作業を実施	観光地、町道の除草作業を実施		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	国道、県道については県所管の管轄になっており除草作業のスケジュール等を確認し取組んだ、また、本町の観光地や町道については随時状況把握を行い除草作業等を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実 績		84%	86%	89%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	本町へ訪れる観光客等に対しアンケートを実施し、観光地や歩道等の景観形成について「雑草等による障害がなく安全・安心環境や観光地としての景観形成がなされているか」で89%の回答を得た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 作業員は前年度からの継続雇用にて14名体制での事業実施ができていたが、1名が病気療養のため長期間の病休が生じた。欠員の補充を行い対応した。 - 外部機関を利用した刈払機の安全講習を受講し、作業員の更なる作業の安全性の向上を図ることができた。	- 人事担当者と相談をし、病気療養中の作業員の補充等の検討を行う必要がある。 - 通年を通した町内でのイベント情報の把握ができておりそこに合わせた除草作業ができている状態である。今後は新たな町内のイベント情報を集約し、年間の作業スケジュールを立てていく必要がある。
今後の取り組み方針		
今後も安全・安心、快適な観光地としての環境整備を図るため、関係機関との連携を図り継続的に実施を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>47,129</td><td>46,589</td><td>37,271</td><td>9,318</td><td>540</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	47,129	46,589	37,271	9,318	540
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
47,129	46,589	37,271	9,318	540										
本部町 46,589千円 報償費 26,813千円 作業員 26,813千円 (会計年度任用職員述べ15人) 職員手当 9,916千円 (ほか、病休の手当(交付対象外経費) 327千円 作業員 9,916千円 (会計年度任用職員述べ15人) 共済費 3,705千円 (ほか、雇用・労災保険(交付対象外経費) 213千円 作業員 3,705千円 (会計年度任用職員延べ15人) 旅費 354千円 (ほか、雇用・労災保険(交付対象外経費) 213千円 作業員 354千円 (会計年度任用職員延べ9人) 需要費 2,307千円 燃料費・草刈機替刃等 2,307千円 (消耗品費:1,199千円 燃料費:1,108千円) 使用料及び賃借料 1,116千円 車両リース(5台分) 1,116千円 (車両リース:1,116千円) 備品購入費 2,378千円 草刈等備品 2,378千円 (草刈機14台 乗用刈払機 1台 ヘルメット 14台 安全ベスト 14枚 プロア 1台 牽引スリパー 1台)														
資金の流 れ・点 検・評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	- 作業員は書類選考及び面接により選定しており、妥当であると考えている。 - 予算規模については、適正な規模であったと考えている。 - 費目・使途については除草作業等に必要な備品購入や消耗品購入であり、事業目的達成の観点から必要なものである。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	花いっぱい運動推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿い等に花木の植付を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,893				7,964	7,986
		(b)予算現額	4,888				7,964	7,986
		(c)増減額(b-a)	-5				0	0
		(d)繰越額	0				0	0
		A.計(b+d)	4,888				7,964	7,986
	B.執行済額		4888			7,111	7,235	
	うち交付金充当額		3910			5,689	5,788	
	次年度繰越額		0			0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%			89.3%	90.6%	
予算の状況の説明		計画どおりに花木の植付を行い、事業は適正に執行できた。不用額の751千円は植栽・植付に係る作業回数減などによる委託料の出来高精算によるもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	・プランターへの植付=1,185基	目 標	()	()	(1,185基)	(1,185基)		
		実 績			1,185基	1,185基		
	・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスへの植付	目 標	()	()	(植栽マスの植付実施)	(植栽マスへの植付実施)		
		実 績			植栽マスの植付実施	植栽マスへの植付実施		
達成状況説明	町内各種団体や町民ボランティアから成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」により、国道及び県道沿い等に設置したプランター1,185基や観光アクセス道路沿い植栽マスへ年2回花木の植付を行い、活動目標を達成することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目 標	()	()	(80%)	(80%)	()	
		実 績			77%	81%		
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	今年度はWEBアンケートを実施した。「観光地周辺に展示されている草花や花木に対する満足度をお答えください」という設問に対して、81%が満足との回答が得られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・アンケート調査において、本事業を「継続または拡大した方が良い」との回答が得られたが、「南国らしい植栽があったらよい」という回答もあったため、沖縄らしい花木を植えるなどの工夫が必要。	・観光客の目を引く南国らしい花木を確認し、設置の検討するを必要がある。
今後の取り組み方針		
・今後も継続的な取り組みを推進するため、植える花木の工夫や設置場所を検討する必要がある。また、町広報誌やホームページを活用し情報発信することで、花いっぱい運動推進事業への関心を高めてもらい、今後の取り組みに生かす。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,235</td><td>7,235</td><td>5,788</td><td>1,447</td><td>0</td></tr> </table> 本部町 7,235千円 委託料 7,235千円 一般社団法人 本部町観光協会 7,235千円 花いっぱい運動推進事業業務委託 (プランター1,185基、観光アクセス道路沿い植栽マスへ花の植付等)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,235	7,235	5,788	1,447	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,235	7,235	5,788	1,447	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は観光地の観光形成として観光客の多く集まる場所や、人目につきやすい場所を多く把握しており、沿道美化活動の実績がある本部町観光協会を主体としており妥当と考える。地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定により随意契約としている。 ○積算については、複数者見積によるものとなっており妥当と考える。 ○費目・使途に関しては額の確定時において確認を行い適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	本部町観光誘客周遊バス実証事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和5～令和7年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	人と環境にやさしいまちづくりの 推進	
事業内容	町内の宿泊施設、観光施設を周遊バスで結び、二次交通の整備による観光客の移動手段を確保し、観光誘客に繋げるため、町内の宿泊施設、観光施設及び商業施設等を結ぶ周遊バス運行に向けた実証実験を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度	R7年度		
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	30,036	33,000			
		(b) 予算現額	30,036	33,000			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	30,036	33,000			
	B. 執行済額		29,920	32,450			
	うち交付金充当額		23,936	25,960			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		99.6%	98.3%			
予算の状況の説明		計画通りに適正に執行できた。不用額550千円については、入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度		
	周遊バスの運行	目 標	(周遊バスの運行)	(周遊バスの運行)	()	()	
		実 績	周遊バスの運行	周遊バスの運行			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	令和6年6月1日から令和7年2月1日までの247日間、本町のホテルや観光施設を結ぶ区間を二次交通の整備により観光客の移動手段を確保するため、周遊バスを運行した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (R0年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
	周遊バスの利用者数	目 標	()	(13,400人)	(13,400人)	()	()
		実 績		12,240人	16,234人		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	利用の実績としては、期間中16,234人の観光客が利用した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者は前年度より約1.3倍増加している。主な要因としてはテレビや新聞報道、ホームページ等を活用し認知されたためである。8月以外の乗車数が増えているものの、8月の乗車数に比べると利用者は多くない。	年間の利用促進を上げるため観光施設と連携し、周遊バスの運行についてルートを見直すなど改善を図る。
今後の取り組み方針		
今後は、観光客や町内の観光施設の意見をくみ取り、周遊バスの運行改善を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>32,450</td><td>32,450</td><td>25,960</td><td>6,490</td><td>0</td></tr> </table> 本部町 32,450千円 委託料 32,450千円 株式会社国建 32,450千円 本部町観光誘客周遊バス実証事業委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	32,450	32,450	25,960	6,490	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
32,450	32,450	25,960	6,490	0										
資金の流し、評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
資金の流し、評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、地方自治法第234条に係る指名競争入札により選定しており、妥当である。 ○事業内容に沿った予算規模であり、妥当である。 ○実績において必要なものなのかについて検査、確認し適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	もとぶブランド牛改良促進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和4～7年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化	
						Ⅲ-1-(6)	
事業内容	町内の肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良促進を目的に、採卵用優良雌牛の導入と導入牛を活用した人工授精等の採卵に係る支援を行う。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(8 年度)						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,347	1,737	3,009		
		(b) 予算現額	16,297	2,772	2,211		
		(c) 増減額(b-a)	-3,050	1,035	-798		
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	16,297	2,772	2,211		
	B. 執行済額		12,919	2,708	1,637		
	うち交付金充当額		10,335	2,166	1,310		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		79.3%	97.7%	74.0%		
予算の状況の説明		牛の状態等について獣医師の判断を踏まえながら採卵をした結果、予定していた採卵回数及び個数が減少したため、執行額が減少となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度		
	人工受精卵移植の実施	目 標	()	(人工受精卵移植の完了)	(人工受精卵移植の実施)	()	
		実 績		—	人工受精卵移植の実施	—	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	導入牛1頭については、子宮等の関係器官の発達・成熟を促すため、採卵開始前に妊娠・出産を経験させる必要が生じたため、採卵開始時期は次年度に持ち越しとなった。残り1頭については、体調等を踏まえながら、採卵を行った。また受精卵移植についても実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R8年度)
	人工受精卵の移植1件以上	目 標	()	()	(受精卵移植の完了)	(1件以上)	()
		実 績			—	4件	
	【令和6年成果目標】 本事業で生産された子牛のセリ平均価格がその他の子牛のセリ平均価格を上回ること	目 標	()	()	(-)	(-)	子牛価格: 平均価格以上
		実 績			—	—	
	進捗状況説明	採卵用優良母牛の導入と安定に期間を要していたため、人工授精を行う時期に遅れが生じていたが、令和6年度に受精卵移植を4件完了した。人工授精の遅れにより子牛の生産が遅れているため、後年度発現を設定していた令和6年成果目標のセリ平均価格を上回ることについては未達成となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	牛の体調等の状態に考慮しながらの採卵になるため、効率的な採卵を図っていく必要がある。	獣医師や県畜産試験場や、家畜改良協会等外部機関の助言を取り入れる機会を設けることで導入牛の飼養管理環境の整備及び効率的な採卵方法の検討を図っていく。
今後の取り組み方針		
採卵環境を整えるため、妊娠・出産期間を設けた導入牛についても、次年度より受精卵の採卵及び配布を開始し、効率的に牛群の改良を行っていく。町職員による定期的な巡回を行うとともに、県畜産試験場や、家畜改良協会等外部機関の助言を取り入れる機会を設けて飼養管理環境を整え、優良雌牛からの安定した採卵が行えるよう取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,666</td><td>1,637</td><td>1,310</td><td>327</td><td>29</td></tr> </table> 本部町 1,637千円 委託料 1,598千円 やんばる和牛改良組合本部支部 1,598千円 うち、交付対象外経費29千円 採卵用優良雌牛飼養管理委託 役務費 39千円 株式会社Core-Support 39千円 遠隔監視カメラ通信費用2台分					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,666	1,637	1,310	327	29
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,666	1,637	1,310	327	29										
資金の 使途の 流れ 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託先は本事業を円滑に実施できる本町唯一の団体であり、選定は妥当であると考える。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ウ 多様なニーズに対応するフードバ リューチェーンの強化	
担当部課名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成28～令和8年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(7)	
事業内容	特産品取扱事業者に対する物産展等への出展支援、販売支援員の配置等を行い、町特産品の販路開拓・拡大を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	13,794	0	12,323	12,412	11,485
		(b) 予算現額	12,277	0	11,123	12,412	11,485
		(c) 増減額(b-a)	-1,517	0	-1,200	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	12,277	0	11,123	12,412	11,485
	B. 執行済額		11,232	0	9,101	10,324	7,714
	うち交付金充当額		8,985	0	7,281	8,259	6,171
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.5%	#DIV/0!	81.8%	83.2%	67.2%
予算の状況の説明		販売支援員が中途退職し、ハローワークで補充の募集を行ったが、応募者がなく人件費に余剰が発生。また県外出展予定先が2件中止、物産展等の参画事業者が当初見込みよりも減となったため、直接経費及び事業者助成金に余剰が発生した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化)	目 標		(もとぶ産品の リスト化)	(もとぶ産品の リスト化)	もとぶ産品の リスト化	
		実 績		3業者の商品をリス ト化	8業者の商品をリス ト化	10業者の商品をリス ト化	
	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援)	目 標		(PR及び販売 支援)	(PR及び販売 支援)	PR及び販売 支援	
		実 績		4回支援	4回支援	5回支援	
	・商工会への支援の実施 (町産品活用推進に向けた販促支援)	目 標		()	()	販促支援	
		実 績				—	
	・商工会への支援の実施 (県内外物産展等への出展支援)	目 標		(出展支援(5 回))	(出展支援(5 回))	出展支援(6 回)	
		実 績		8回支援(県内5、県 外3)	8回支援(県内5、県 外3)	8回支援(県内4、県 外2)	
達成 状 況 説 明	物産展への出展支援においては6回支援。昨年に引き続き、館鼻岸壁朝市(青森県八戸市)での販売、県内のイベントに積極的に参加し出展支援を行うことで、幅広く、継続的にもとぶ産品のPRを行うことができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	新規取引契約数 10件以上	目 標	()	(10件)	(10件)	(10件)	()
		実 績		4件	10件	18件	
		目 標	()	()	()	()	()
実 績							

	進捗状況説明	新規取引契約については目標の10件を超えて18件を達成することができた。
--	--------	--------------------------------------

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・販売支援員について、中途退職があり、ハローワークで募集を図るも、応募がない状況である。販売支援は例年の取り組みで土台はある程度できているが、今後さらなる発展を行うには販売支援員のスキルアップ等が必要になってくるかと思われる。 ・新規取引契約数について、町内事業者との契約は通年を通してある程度達成できている状況ではあるが、町外事業者との契約実績が不十分であり、課題となっている。	・販売支援員について、販売員確保に向けて今後の雇用体制等を見直す必要がある。また販売員のスキルアップを目的に他社の販売方法を学ぶ為の視察や専門家を招いての勉強会などを必要に応じて実施する。 ・新規取引契約数について、今後も引き続き新規契約確保に向けて取り組んでいく。特に町外事業者との契約確保を強化することで、町外での町産品の使用頻度も増え、町産品のさらなる周知拡大、販路拡大を図る。
今後の取り組み方針		
・今後も町内外への物産展等へ継続的に参加し、町産品のPR、販路開拓を図る。販売員のスキルアップを目指すことで今後の町産品PRの強化を図る。今後も新たな物産展等へ参加することで参画事業者の積極的な参加を図り、町産品のPR、販売促進につなげる。また販路開拓等の機会を増やすことで、町産品のPR拡大にもつなげ、魅力向上にもつなげることで町外事業者との契約確保強化も図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
本部町 7,714千円 → 補助金 7,714千円 → 本部町商工会 7,714千円 (メイドインもとぶ産品成長産業化推進事業補助金 ・町特産品のPR及び販売の支援 ・販売支援員の配置 ・事業所に対する物産展への出展料助成)		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,714</td><td>7,714</td><td>6,171</td><td>1,543</td><td>0</td></tr> </table>			総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,714	7,714	6,171	1,543	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,714	7,714	6,171	1,543	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先は本事業を円滑に実施できる本町唯一の商工会であり、補助要件に照らして選定は妥当であると考える。 ○販売員の減、物産展の中止等による不用額があったが、予算は事業内容に沿った適正な規模であったと考える。 ○本事業は町の産品について網羅的に販路拡大を目指していく事業で有り、公益性が高く受益者負担は妥当である。 ○費目・使途は事業費確定時に検査、確認しており、適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	テレワーカー人材育成事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(11)-イ	
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	令和4～令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多様な働き方の促進と働きやすい環境づくり	
事業内容	Ⅲ-2						
事業内容	テレワーカー人材の育成を図るため、町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R4年度	R5年度	R6年度		
		(a)当初予算額	6,885	6,885	7,046		
		(b)予算現額	6,884	6,885	7,046		
		(c)増減額(b-a)	-1	0	0		
		(d)繰越額	0	0	0		
		A.計(b+d)	6,884	6,885	7,046		
		B.執行済額	6,884	6,885	7,046		
		うち交付金充当額	5,507	5,507	5,636		
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%			
予算の状況の説明	当初の予定通り事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度		
	テレワークに関する各種セミナーの開催(受講者50名)	目標	(50人)	(50人)	(50人)	()	
		実績	56人	52人	56人		
	テレワーカーの就労支援(業務斡旋1人1回ずつ実施)	目標	(1人1回ずつ実施)	(1人1回ずつ実施)	(1人1回ずつ実施)	()	
		実績	1人1回ずつ実施	1人1回ずつ実施	1人1回ずつ実施		
達成状況説明	当初、50人を定員として受講者募集を行ったが、想定以上の応募があったため、定員枠を増やして対応した。幅広い業務の就労支援を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	テレワーカーとして就労した人数(受講者の29%以上)	目標	()	(25%)	(25%)	(29%)	()
		実績		30%	34%	37.5%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	受講者56人中、就労支援を受けて収入を得た人数が21人となり、目標の29%以上を達成することができた。就労支援を受けた受講者には、テレワーク業務の仲介プラットフォームに登録してもらい、引き続き業務を受注できる体制を構築した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	在宅ワークの普及に伴い、インターネット環境の整備や雇用形態の変化に伴い、テレワークという就業形態を通して副収入を得たいという人が多くいたことが、成果目標達成の要因と考えられる。	受講者へ継続的なテレワーク業務の受注を行っていき、所得向上や技術向上を図る。
今後の取り組み方針		
より多くの受講者が就労できるよう、受講者のレベルに応じた様々な講習の実施や取り組みやすい業務の受注を検討し、テレワーク人材の育成に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,046</td><td>7,046</td><td>5,636</td><td>1,410</td><td>0</td></tr> </table> 本部町 7,046千円 → 委託料 7,046千円 → 株式会社アイポリー 7,046千円 (テレワーク講習、業務斡旋支援委託)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,046	7,046	5,636	1,410	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,046	7,046	5,636	1,410	0										
資金の流 れ・点検・ 評価・費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は過去の受託実績を基に選定しており妥当であったと考えている。 ○不用額は無く適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	本部町学力向上学習支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	町内小中学校に学習支援員を配置し、主要教科において、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行い、学力の向上を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	76,410	73,768	82,818	86,849	118,929
		(b)予算現額	65,327	64,913	76,115	76,230	116,672
		(c)増減額(b-a)	-11,083	-8,855	-6,703	-10,619	-2,257
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	65,327	64,913	76,115	76,230	116,672
	B.執行済額		64,645	65,792	71,155	71,114	108,384
	うち交付金充当額		51,716	51,930	56,924	56,890	86,707
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.0%	101.4%	93.5%	93.3%	92.9%
予算の状況の説明		予算の減額については、無給休暇等や欠員が生じたことによるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況			
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	町立小学校 4校へ配置	目標	(4校)	(4校)	(4校)	(4校)	
		実績	4校	4校	4校	4校	
	町立中学校 3校へ配置	目標	(3校)	(3校)	(3校)	(3校)	
実績		3校	3校	3校	3校		
達成状況説明	小学校4校へ22名(学力向上推進教師12名、学習生活支援員10名)、中学校3校へ9名(学力向上推進教師4名、学習生活支援員5名)の支援員配置を行い、授業中の支援、放課後の補習といった学習支援を行い、学力の向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -7.8ポイント以上	目標	()	(-3.8)	(-7.7)	(-7.8)	()
		実績		-9.75	-8.32	-8.3	
	令和6年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 -5.6ポイント以上	目標	()	(-5.4)	(-4.0)	(-5.6)	()
		実績		-5.7	-6.1	-4.07	
進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査における正答率の県平均と本町との差は、 ・小学校 -8.3ポイント(国語・算数(5～6年)) ・中学校 -4.07ポイント(国語・数学・英語(1～2年)) となり、中学校のみ目標達成となった。なお、令和6年度の学力到達度調査で実施のあった科目で実績を算出した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和6年度の沖縄県学力到達度調査では、中学校のみ目標達成となった。中学校は学力の伸びが見られるものの、小学校は横ばいとなっている。	①学力下位または授業に集中できない児童生徒への個別の対策が必要。 ②授業内容・支援内容の検討を行い、授業の質を向上させる取り組みを行う。
今後の取り組み方針		
①別室での個別指導・補習等を行い、学力下位の児童生徒の正答率向上を図る。 ②学力向上アドバイザーの公開授業や助言を適宜行い、教員および支援員の指導能力の向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120,091</td><td>108,384</td><td>86,707</td><td>21,677</td><td>11,707</td></tr> </tbody> </table> 本部町 108,384千円 報酬 60,217千円 学推教師及び支援員 60,217千円 (会計年度任用職員延べ31人) 給料 学習指導アドバイザー 3,204千円 (会計年度任用職員延べ1人) 職員手当等 26,316千円 学推教師及び支援員 26,042千円 (会計年度任用職員延べ31人) 学習指導アドバイザー 78千円 (会計年度任用職員延べ1人) 退職手当組合負担金 196千円 共済費 13,612千円 (会計年度任用職員延べ30人) 旅費 学推教師及び支援員 1,600千円 (会計年度任用職員延べ27人) 消耗品 (有)友寄商事 412千円 (指導用教科書) 使用料 トラストコミュニケーション株式会社 3,023千円 (学習支援アプリ)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	120,091	108,384	86,707	21,677	11,707
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
120,091	108,384	86,707	21,677	11,707										
資金の流 れ・点 検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援員の雇用は条例、規則に則りなされており妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学習支援アプリは入れを行い契約した。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○休暇・欠員に伴う補正減や不用額が生じているが、予算規模は事業内容に見合った適正な規模である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途の必要性及び執行状況を確認しており適正である。											

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	特別支援教育環境充実事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成28年～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進	
						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	特別な支援を要する園児児童生徒に対し、特別支援教育支援員等を配置し、学校生活や学習支援上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	20,652	21,769	28,573	28,631	35,612
		(b)予算現額	19,423	21,382	25,580	27,301	35,612
		(c)増減額(b-a)	-1,229	-387	-2,993	-1,330	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	19,423	21,382	25,580	27,301	35,612
	B.執行済額		19309	21639	25,032	25,554	33,994
	うち交付金充当額		15447	17105	20,025	20,443	27,195
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.4%	101.2%	97.9%	93.6%	95.5%
予算の状況の説明		予算の減額については、無給休暇等や欠員が生じたことによるもの。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況			
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	特別支援教育支援員 8名配置	目標	(小学校1名 幼稚園7名)	(中学校1名 幼稚園8名)	(中学校1名 幼稚園8名)	(幼稚園8名)	
		実績	小学校1名 幼稚園7名	中学校1名 幼稚園8名	中学校1名 幼稚園7名	幼稚園8名	
	スクールソーシャルワーカー 2名配置 スクールカウンセラー 1名配置	目標	(2名)	(2名)	(2名)	(3名)	
実績		2名	2名	2名	2名		
達成状況説明	・本部幼稚園5名、上本部幼稚園1名、瀬底幼稚園1名、伊豆味幼稚園1名の計8名を配置した。 ・各支援員が、支援を要する園児児童に対し、校長、教頭、学級担任等と支援検討を行いながら対応した。 ・スクールソーシャルワーカー・カウンセラーを2名雇用し、各学校を巡回しながら支援を要する園児児童生徒及び家庭の情報を収集し、支援にあたった。 ・スクールソーシャルワーカー・カウンセラーを合わせて3名雇用する予定だったが、応募がなく実績は2名となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		86%	86%	84%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	保護者に対するアンケートによる検証を行った結果、「特別な支援が必要な子どもに対し、丁寧な支援を行っているか」との設問に84%の保護者から肯定的な回答を得た。 アンケートの結果から、支援を要する園児児童に対する活動において、保護者から高い評価を得ていることが確認できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は特別な支援を要する子ども達への理解やSSWの面談等について保護者から高い評価を得ており、支援員が適切な支援をできたと考えられる。今後も満足度を維持できるよう保護者のニーズに対応する。	児童生徒によって抱える問題が多岐に及ぶため、子ども達が安心して生活できる学校づくりを行う。特に重点的な支援の必要がある児童生徒に関しては、教育的知見に長けた職員に担当させる。
今後の取り組み方針		
教員免許保持者の特別支援教育支援員を必要な学校に配置し、問題を抱える子ども達のきめ細やかな支援を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34,864</td><td>33,994</td><td>27,195</td><td>6,799</td><td>870</td></tr> </tbody> </table> 本部町 33,994千円 報酬 21,506千円 特別支援教育支援員及びスクールソーシャルワーカー・カウンセラー 〔 会計年度任用職員延べ10人 〕 職員手当等 8,086千円 特別支援教育支援員及びスクールソーシャルワーカー・カウンセラー 〔 会計年度任用職員延べ10人 〕 共済費 4,123千円 〔 会計年度任用職員延べ10人 〕 旅費 279千円 特別支援教育支援員及びスクールソーシャルワーカー・カウンセラー 〔 会計年度任用職員延べ5人 〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	34,864	33,994	27,195	6,799	870
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
34,864	33,994	27,195	6,799	870										
資金の流 点検・ 評価 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員及びSSWの雇用は、条例及び規則に基づき実施している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○雇用実績に伴う補正減があるものの、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、出勤日数、休暇処理、日給、保険料計算のための月額報酬等を確認の上、目的に即した必要な支出であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	本部っ子短期留学チャレンジ事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成27～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	町内の中高生を英語圏(アメリカ・ワシントン州)へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野をもつ人材を育成する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R5年度		R6年度			
		(a)当初予算額	12,645	14,775			
		(b)予算現額	12,645	14,775			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	0	0			
		A.計(b+d)	12,645	14,775			
		B.執行済額		12,645	14,775		
		うち交付金充当額		10,116	11,820		
		次年度繰越額		0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		予定通り事業を執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度			
	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間) 県内での宿泊英語学習	目標	(短期間派遣)	(短期間派遣)			
		実績	短期間派遣	短期間派遣			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	高校生11名、中学生4名の計15名をアメリカ合衆国(ワシントン州)へ、令和6年7月11日から令和6年7月31日の短期間派遣することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度		目標値(年度)
	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する	目標	()	(80%)	(80%)		(80%)
		実績		93%	100%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	帰国後、保護者を対象にアンケート調査を実施し、「生徒の国際的な視野がより広まったと感じた」との回答が100%であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・前年度は新型コロナ下での派遣中止を経ての3年ぶりの事業実施のため、応募者も多かったが、今年度はコロナ前の水準に戻りつつある。派遣生の中には長期留学への参加を検討している生徒も数名おり、生徒の国際的な視野の拡大につながっている。 ・保護者アンケートと一緒に実施している生徒アンケートより「留学の期間を長期化してほしい」「事前にもっと勉強するべきだった」との回答があった。	・留学期間の長期化を要望する声があったため、留学内容の検討を行う必要がある。 ・事前学習の必要性を実感した生徒も多く、事前研修の内容や回数について検討を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・留学期間の検討について、受け入れ団体と協議し対応の可否について可能かどうかを検討し、改善を図る。 ・事前研修の実施内容及び回数について、生徒アンケートの分析による研修内容の見直しや、回数増の可否について日程的に可能かどうかを検討し、事業効果を最大限発揮できるよう改善を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18,480</td><td>14,775</td><td>11,820</td><td>2,955</td><td>3,705</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	18,480	14,775	11,820	2,955	3,705
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
18,480	14,775	11,820	2,955	3,705										
本部町 14,775千円 補助金 14,775千円 個人(15名) 14,775千円 本部つ子短期留学チャレンジ支援補助金 ほか、個人負担分(交付対象外経費)3,705千円														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選考方法については、学校長からの推薦がある生徒を選考審査会にて審査しており、妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算執行率は100%であり、事業内容に見合った適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である派遣生は、派遣費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から妥当であると判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途について額の確定時において確認を行い、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	本部町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	児童、生徒の派遣費補助事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	令和6～13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実	
						Ⅲ-3-1	
事業内容	児童生徒に広い視野を持たせるため、県外及び県内離島で開催される大会へ派遣される児童生徒等に対し、派遣費の一部を補助し支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R6年度					
		(a) 当初予算額	2,565				
		(b) 予算現額	2,565				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	2,565				
	B. 執行済額	1,529					
		うち交付金充当額	1,223				
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	59.6%					
予算の状況の説明	町又は県等を代表して県外及び県内離島の大会へ派遣される際の、児童生徒等の派遣費用の補助金申請に対して適正に審査し補助金の額を確定している。 大会の開催時期が本事業の完了に間に合わない大会が複数件あった事、派遣又は推薦が決定した時点での大会参加となるので、当初目標としていた人数よりも減少したしたことにより、予算現額(2,565千円)よりも執行額は下がった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度				
	県外で開催される大会等へ参加する児童生徒への派遣に関する補助金支援	目標	(支援)				
		実績	支援				
		目標	()				
		実績					
達成状況説明	申請22件となっており、「本部町児童生徒等の県外及び県内離島派遣等に関する補助金交付要綱」に基づく補助金申請に対して書類審査を行った結果、適正と認め、申請22件すべてに対し、支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R6年度		目標値(年度)	
	派遣後の児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートより、本事業のありかたを検証	目標	()	(80%)			()
		実績		100%			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	保護者へのアンケートの結果、本補助金の交付が「県外児童生徒等との競争や交流を通して、児童生徒が成長につながる機会を得られたと感じる」との回答が100%と目標を達成し児童生徒の成長につながるものとして、有意義だと考えていることが分かった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)											
取組の検証	・本年度から実施した新規の事業であり、年度初めの頃は、周知に苦労した。提出書類や補助金の手続きについて把握していない保護者が多く、補助までの流れについて資料を作成し、時間をかけて説明を行った。まだ、把握してない保護者も見受けられる。	・提出書類が多いので、補助までの流れと併せてチェック欄を作成し、漏れが無い様にした。今後もホームページ掲載、学校事務職員への説明等、申請を行う個人や団体に対して時間をかけて説明を行い、事業の周知を行う。											
	・アンケートの結果から、保護者の満足度は高く、児童生徒が各種大会へ参加しやすい体制を構築することができた。また、児童生徒が成長に繋がる機会を得られたと思っていることが分かる。	・保護者アンケートで本補助金の交付は児童生徒の成長に繋がるものとして有意義だと考えると答えた保護者が100%になっており、今後も同様な補助を行い、児童生徒等が県外及び県内離島開催大会へ参加しやすい体制を支援していく。											
今後の取り組み方針													
・新規事業で、事業についてまだ把握してない保護者も見受けられるので、時間をかけて説明を行い、申請しやすい方法や周知の方法も模索しながら、継続して事業の周知を図る。													
・本事業に対して、「県外児童生徒等との競争や交流を通して、児童生徒が成長につながる機会を得られたと感じる。」また「児童生徒の成長に繋がるものとして、有意義だと考える。」と回答した保護者が両方とも100%と高く評価しており、継続して児童生徒等へ補助を行い、県外及び県内離島大会へ参加しやすい支援を行っていく。また、引き続き保護者アンケートを行い、事業の効果を確認する。													
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)													
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>5,502</td><td>1,529</td><td>1,223</td><td>306</td><td>3,973</td></tr></table> 本部町 1,529千円 補助金 1,529千円 補助金申請者・団体 1,529千円 受益者負担分 (交付対象外経費) 3,972千円 小中学校の児童生徒及び高等学校等の生徒が県外及び県内離島で開催される運動競技、又は文化関係の大会等へ参加する際の(航空運賃) 補助金				総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,502	1,529	1,223	306	3,973
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費									
5,502	1,529	1,223	306	3,973									
資金の流れ、 使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・本部町児童生徒等の県外及び県内離島派遣等に関する補助金交付要綱に基づく申請に対して、書類審査を行ない選定しているので妥当である。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は過年度における派遣実績で最高額を計上しており、適正な規模となっている。										
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・補助金交付要綱に基づく補助(航空運賃の1/2)となっており、受益者との負担関係は妥当である。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目については要綱に基づき航空運賃に限定し、使途については、補助金確定時に支出等に関する書類審査を行ない適正である事を確認している。										

市町村名	本部町					
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-①	低炭素なまちづくり推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ア
担当部課名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	令和5～7年度		沖縄振興基本方針該当箇所	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進
事業内容	地球温暖化の主要原因の一つである二酸化炭素排出量を削減することで、環境負荷を低減し持続可能な社会を構築するために、公衆街灯路や公共施設等の照明機器を省エネタイプのLED照明に切り替える。					
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)					
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 □負担 ■その他(工事)					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
		(a)当初予算額	60,000		29,274	
		(b)予算現額	63,837		15,686	
		(c)増減額(b-a)	3,837	0	-13,588	
		(d)繰越額		32,179		
		A.計(b+d)	63,837	32,179	15,686	
		B.執行済額	31,658	30,822	15,686	
		うち交付金充当額	25,326	24,658	12,548	
		次年度繰越額	32,179			
		執行率(%) (B/A)	49.6%	95.8%	100.0%	
予算の状況の説明	予定通り事業を執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況			
			R5年度	R6年度		
	LED照明切替工事発注	目標	()	(1件)		
		実績		1件		
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明	当初の予定通り工期限内にLED照明に切り替えることができ、事故なく工事を実施できた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	R6年度中に切り替えるLED照明による二酸化炭素排出量の削減19.51t-Co2/年	目標	()	()	(19.51t-Co2)	()
		実績			16.59t-Co2	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
	進捗状況説明	二酸化炭素排出量については、電力と年間点灯時間及び二酸化炭素排出基礎排出係数を乗じて算出した結果、16.59t-Co2と目標値より2.92t-Co2二酸化炭素を抑えることが出来た。LED照明取替前と比較すると、電力量と二酸化炭素排出量を55%削減することが出来た。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	LED照明を計画どおりに取替ができたことで、電力量及び二酸化炭素排出量の削減ができ、目標達成にいたった要因であると考えられる。	LED照明に切り替えできていない施設もあるため、LED照明の切り替えを進めるとともに、電力量及び二酸化炭素排出量の削減に努める。
今後の取り組み方針		
引き続き各施設をLED照明に切り替えることで、電力量を抑えて町全体の二酸化炭素排出量の削減を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>15,686</td><td>15,686</td><td>12,548</td><td>3,138</td><td>0</td></tr> </table> 本部町 15,686千円 工事費 15,686千円 (有)仲建工業 15,686千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,686	15,686	12,548	3,138	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,686	15,686	12,548	3,138	0										
資金の流 点検・ 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は無く適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												